

みて! よんで! いっく

ぎかいのひろば

「しかばす いーじー」
運行開始!



トピック

- ・「しかばす いーじー」に乗ってみました P2～3
- ・議員が注目! 令和7年度当初予算 P6～7
- ・一般質問 5氏が登壇 P12～17

志賀町議会



4月1日からAI（人工知能）を活用した予約制乗合交通がスタートしました。

利用者からの電話や、パソコン・スマートフォンでの乗車依頼を受付け、最適な乗り合わせと経路を計算、目的地まで乗り合いで送迎します。

希望する日時に、町内の希望する場所（停留所）まで行くことができ、志賀・富来地域間の移動が可能となるなど、利便性の向上が期待できます。



「しかばす いーじー」 を利用しました!



2 バス停で待ちます



当日、予約の5分前までに、**予約した「しかばすの停留所」**で、お待ちください。



1 予約します



予約は、**予約専用のコールセンター**に電話するか、パソコン・スマートフォンから行います。

※予約には事前の会員登録が必要です。
登録は申込書（紙）またはアプリで行ってください。

突撃 インタビュー



（写真左上から）寺口さん、田中さん、政氏さん、村山さん、河瀬さん3姉妹、政氏さん

- 到着したい時間に行けることが良いと思います。
- 今まではコースが決まっていたので時間が掛かっていたが、行きたい場所にすぐ行けるのがうれしいです。
- 今度は買い物などにも使ってみたいです。

「しかばす いーじー」 利用した感想は？



愛称は

「しかばす いーじー」

「いーじー」には、英語の「EASY(簡単)」⇒簡単に予約できる、と「いいなあ」という方言の「いいじー」の意味が込められています。



4月1日に出発式が行われました。



4

目的地に着いたら お金を払って 降車します

目的地に到着！

降車時に運転手に「**会員証**」または「**アプリ**」を提示し、料金を支払います。
料金は、**現金・回数券**または**ペイペイ**で支払いできます。

【大人(中学生以上)の利用料金】

志賀地域内、富来地域内は200円
両地域をまたぐ場合は300円



無事、到着。
運転手さん、
ありがとうございました。



3

乗車は乗り合いに なります



運行ルートはAI
が最適ルート
を設定します。



「しかばす いーじー」
乗り方ガイドは
こちらから



「しかばす いーじー」本格運行前に、議会広報委員で試乗運行の体験を行いました。
自分が希望する時間に、希望した場所まで行けることはたいへん便利だと感じました。
町民の皆様の新しい移動方法として、利用が広がっていくことを期待します。
みなさんもぜひ一度、「しかばす いーじー」をご利用してみてくださいいかがでしょうか。

議会広報委員から



歳入のポイント

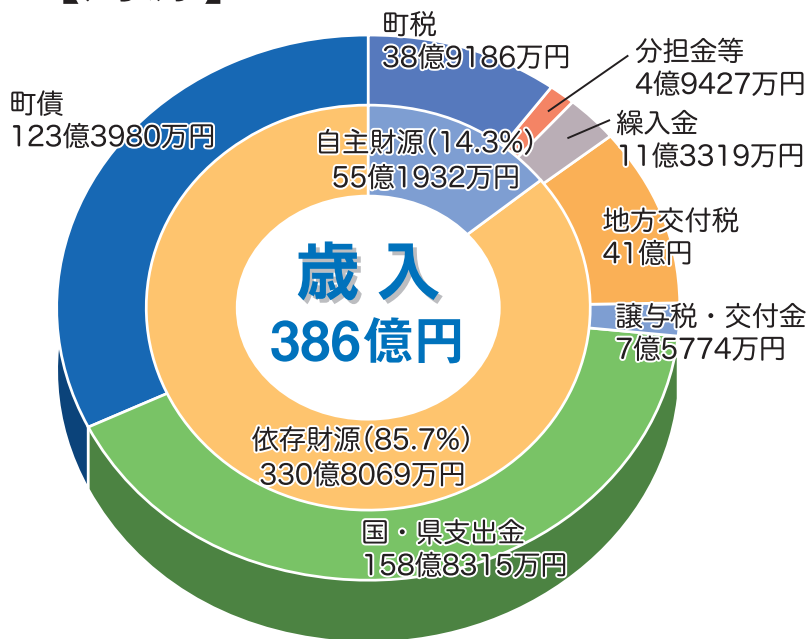
- ・大規模償却資産の増加
- ・復興基金交付金、農林水産業関係災害復旧費補助金の増額

一般会計当初予算 過去最高を更新

386 億円に

3月定例会は、2月25日から3月14日までの18日間の会期で開かれました。
町提出案件は31件で、専決処分の報告が1件、令和6年度の各会計の補正
予算をはじめ条例の制定や改廃、財産の処分、令和7年度の各会計の当初予
算の議案などを審査し、すべて原案のとおり可決しました。
(※議決結果はP10参照)

【財源】



【各会計予算額の年度別比較】

区 分		新年度予算額	(参考) 令和6年度	(参考) 令和5年度	
一 般 会 計		386億円	371億円	122億8000万円	
特別会計	国民健康保険	25億3103万円	21億2724万円	22億9899万円	
	後期高齢者医療	4億6711万円	4億3591万円	4億 4万円	
	介 護 保 険	31億3415万円	30億 625万円	29億7702万円	
	診 療 所	1億9524万円	1億8909万円	1億9650万円	
企業会計	水道	収益の支出	6億 634万円	5億9052万円	5億9215万円
		資本の支出	18億9521万円	6億4036万円	9億8885万円
	下水道	収益の支出	11億4450万円	14億2747万円	11億 546万円
		資本の支出	38億4422万円	21億2197万円	12億8527万円
	病院	収益の支出	15億 497万円	22億7470万円	14億4392万円
		資本の支出	2億9035万円	5億2211万円	3億2421万円
合 計		542億1312万円	504億3562万円	238億9241万円	

※各項目の予算額は千円以下を四捨五入しております。全項目の合計と合計欄の額が一致しない場合があります。



↑ 提案理由説明の
映像はコチラから

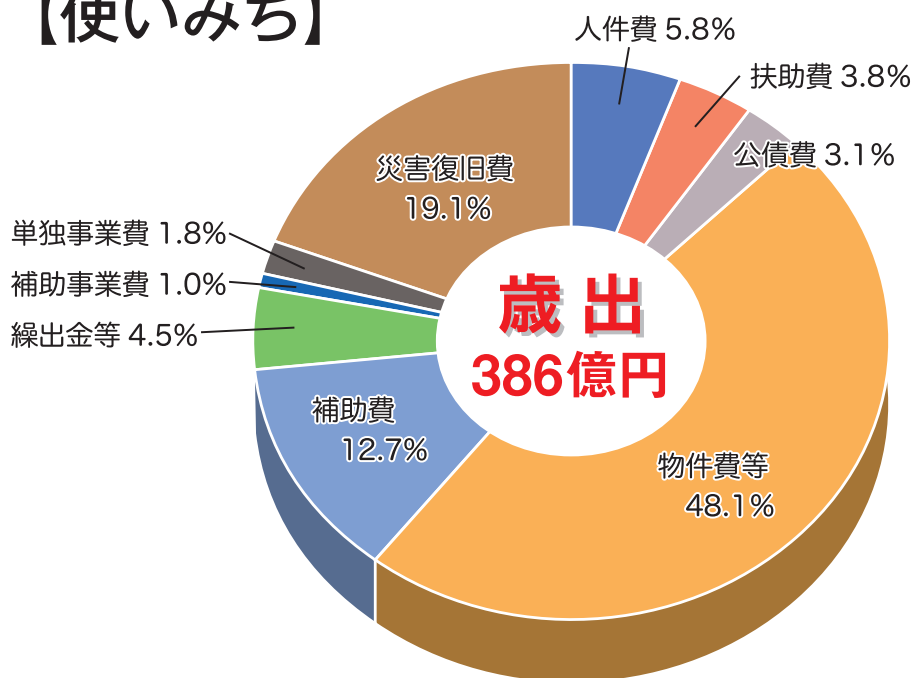


歳出のポイント

○能登半島地震からの災害復旧事業と復興関連事業を中心とした予算編成

- ・災害復旧重点事業(道路や河川、農業用施設、漁港などのインフラや公共施設の復旧など)
・・・ 74億8千万円
- ・復興に関連した重点事業(公費解体、避難拠点施設整備・災害公営住宅整備事業、将来のまちづくりに向けた長期計画策定事業)
・・・ 161億2千万円

【使いみち】



用語解説	
【自主財源】 町で集めたお金(町税など)	【公債費】 町の借入金返済金
【依存財源】 国や県の基準に基づき交付されたり割り当てられたりするお金	【物件費】 業務委託・物品購入・施設の維持管理など
【人件費】 職員の給与	【補助費】 補助金や交付金など
【扶助費】 医療費助成や児童手当など	【繰出金】 他会計への出金・積立金

【歳出の使いみち】

区 分	新年度予算額	対前年度伸率	説明
人 件 費	22億2235万円	1.5%	職員の給料や議員報酬など
扶 助 費	14億8110万円	△9.9%	医療費や児童手当など
公 債 費	12億 164万円	2.8%	町の借金を返済するためのお金
物 件 費 等	185億5778万円	△5.6%	業務委託・物品購入・施設の維持管理など
補 助 費	48億9851万円	△8.3%	補助金・助成金・負担金など
繰 出 金 等	17億4921万円	48.7%	他会計への出金、積立金など
補 助 事 業 費	3億9946万円	1190.0%	災害公営住宅整備事業など
単 独 事 業 費	6億9921万円	170.6%	避難拠点施設、小中一貫校整備事業など
災 害 復 旧 費	73億9076万円	31.3%	令和6年能登半島地震災害復旧など
合 計	386億円	4.0%	

議員が注目！

令和7年度 当初予算

商工費全事業

商工費には、企業誘致や観光に関する今後のワクワクがつまっています。

イベントや観光、企業誘致などがわかります！

特に志賀町提案型地域づくり事業は、お祭りなどの賑わい創出で今後の発展を期待しています。



小林 克嘉 議員

令和7年第1回定例会では、全会計合わせて542億円の予算を、予算決算常任委員会で審査しました。

ここでは、各議員が特に注目する事業・取組をピックアップしました。

コミュニティバス運行事業

高齢者や身体障がい者など、**交通弱者の生活に欠かせない交通の手段を**、ぜひとも確保してほしい。



表谷 茂浩 議員

富来地域小中一貫校に関わる事業

復興とあわせて「未来志向の地域学校」へと転換するチャンス。

富来地区の特性や少人数をポジティブに捉え、小規模特認校も視野に入れた**都市部からの教育移住者の誘致、空家利活用・子育て支援との連携**を求める。



梢 正美 議員

地域防災計画整備事業

現在の地域防災計画では、大規模災害時の対策本部に議会側は外されている。

そのため、能登地震の際、災対本部会議に議会の参加が認められなかった。

町民の声をスピーディーに届ける防災計画とすべきと考える。



福田 晃悦 議員

志賀原子力発電所 環境安全対策協議会補助金

省エネ・再エネで地球温暖化を一刻も早く止めようという時、その最大の足かせになっている**原発の事実上の推進任意団体の補助金はあってはならない。**



中谷 松助 議員

富来地域小中一貫校整備事業 (基本設計及び実施設計業務委託料)

被災した小学校、及び中学校を小中一貫校として建て替えに当たり、基本的概念の説明がないこと。また基本設計に当たる、敷地の場所、規模、配置及び防災公園など他施設との関連性など説明がないまま、実施設計に進む予算は説明不足であり、もう少し議論が必要ではないか。

Check!



寺井 強 議員

災害公営住宅整備事業

土地取得費については「国費が充当できないため」と、安価な土地を探すことについては理解が得難いのでは。

町の将来を大きく左右させるものであり、**好適地選定**を含め慎重に見守りたい。

Check!



南 正紀 議員

生業復旧関連予算 学校・病院の復旧復興関連予算

生業についてはどの職業であれ、**生活の糧となる復旧の関連予算は優先課題**。

児童・生徒の学びの場の保障と、町民が安心して生活できる病院施設等の早急な復旧が求められる。

Check!



堂下 健一 議員

産業用地整備促進 伴走支援事業

新規の工業団地の造成を目指す事業。

- ①雇用の場創出、町の経済活性化
- ②若者の定住
- ③人口減少に効果ある、未来に光を指す事業で、**成果を期待**しています。

Check!



越後 敏明 議員

富来地域小中一貫校 整備事業 (設計委託料)

小学校校舎は地震により損壊し、使用できなくなり、中学校も甚大な被害を受け、児童・生徒は不自由な学校生活を余儀なくされている。

そのために一刻も早い小中一貫校の建設を望みます。

Check!



富澤 軒康 議員

農地農業用施設 災害復旧費

農業分野でも生産の効率化は大切。**R 6 年元旦の震災を契機に**、「農地 (国 95.5%、町 2.5%、地元負担 2%)、施設 (国 98.8%、町 1.2%補助)」を有効活用して、復興も推進してください。

Check!



林 一夫 議員

なりわい再建支援 補助金交付事業

能登半島地震では多くの事業者が被害を受けました。

事業者の早期の復旧復興や、行政のきめ細かい支援を求めます。

Check!



櫻井 俊一 議員



予算決算 常任委員会

当初予算・補正予算・決算にかかる分野を審査します。

一般会計

将来につながる
まちづくりとなるのか

【道の駅とき海道周辺整備事業】
基本計画策定委託料
1千100万円

【避難拠点施設整備事業】
設計委託料 1億6千万円

【富来地域小中一貫校整備事業】
基本設計・実施設計業務
委託料 7千909万円



工事が中止されたままの
アーバンスポーツ施設

質疑

アーバンスポーツ事業を停止しているが、この事業には多額の投資を行っている。

この事業のコンセプトを聞く。

答弁

町長選挙での公約で、地域の意見を聞いて再構築・見直しし、住民の声を反映させたものにする다고訴えてきた。

現在、富来商工会を中心に地域の方が集まって協議しており、その内容を踏まえて、今後方針を出す。

質疑

以前は交流人口の拡大や経済の活性化を図るとのことであったが、どう考えるか。

答弁

震災復興で関係人口が増えてくると考える。

アーバンスポーツがどのように活かせるか、どのように活かしたいのかの声を十分に反映させたものを作りたい。

質疑

避難拠点施設と富来地域小中一貫校整備、両事業の場所と詳細な説明を求めらる。

答弁

場所はまだ決まっておらず、検討の段階である。予算は基本設計や調査を行うためのもので、適地かどうか判断し、示す資料ができる。

質疑

予算を認めれば、今後説明がないまま建設の話が進むのではないか。

答弁

保護者の声、子どもの数、周辺の人口などを考慮して議論を重ねている。

青写真ができた段階で、住民への説明を考えている。

町側で勝手に進めるものではなく、ご理解願う。

新たな工業団地の 造成を計画

【産業用地
整備促進伴走支援事業】

産業用地整備調査委託料
1千188万円

質疑

企業誘致を進める上では、場所がなければ進まない。

できるだけ早く調査を進めて欲しいが、誘致はどのような産業を考えているのか。

答弁

脱炭素化に向けたデータセンターや再生可能エネルギー関連事業の企業誘致を想定している。

経済産業省に支援していただきながら、整備方針を決める。

宝くじ助成金を活用

【コミュニティ助成事業】

1千万円

質疑

助成金の活用方法は「草刈り機購入」とあるが、地域のコミュニティとの関連はあるのか。

答弁

対象を「地域の共同活動に対するもの」としており、地域での川刈りが危険な区において草刈り機の購入を予定している。

助成金の周知は毎年、区長会で案内しており、事業を利用した場合は、町の広報に掲載している。



助成金を活用し購入された草刈り機



特別・企業会計

水道料金の値上げはあるのか

質疑

給水収益の減額理由を聞く。

地震の影響はあるのか。

答弁

主なものは人口減少である。震災により町外転出者がいることも一部あると考える。

質疑

今後、料金を上げることになっていくのか。

答弁

まずは復旧を優先し、復旧後2か年計画で経営戦略の改定を予定しており、その中で料金改定の必要性について検討する。

災害派遣は今後も続くのか

質疑

町外からの職員の派遣は、どんなタイミングで終了と考えるのか。

答弁

道路河川・上下水道はこれから本復旧となり、3年以上は支援が必要である。専門職が必要なことから引き続き支援をお願いする。



今年度も多くの支援職員の協力で復旧が進められる

賛成

反対

議案に対する 討論

討論とは、議案や請願に対し、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員に賛同を求めるものです。

令和7年度一般会計予算

反対



中谷 松助 議員

能登半島地震後の迅速な復旧復興を意図した施策が組み込まれている点が特徴となっている。しかしながら、志賀原発再稼働を支援する志賀原子力環境安全対策推進協議会への補助金や、外部委託をしてまでの小中学生への学力テストは必要ない。

さらに復興リーディングプロジェクトの一環として計上された大規模災害時の複合型避難拠点施設整備設計委託料に対し、まずは地域に根差した避難所の充実を優先すべきとの理由から反対する。

「地域が継続し得る活力」を取り戻すための施策に、官民上げて的確な判断とスピード感を持つての取組みが必須となっている。

最優先の課題は被災して住居を失った方々が、災害公営住宅への入居を早期に実現し、安定した生活に戻ることに、将来に安心感が得られることである。

過去最高予算の名に恥じないボリュームと復旧復興への意欲が感じられる予算として高く評価する。



林 一夫 議員

賛成

賛成

請願第2号



中谷 松助 議員

選択的夫婦別姓制度は、夫婦が同姓または別姓を選択できる自由を提案するものであり、強制は伴わない仕組みであるが、日本では婚姻時に夫婦同姓が法律で定められ、望まない改姓、事実婚や通称使用などの不都合が生じている。

制度の導入は、個人の人格を示す氏名を尊重し、深い絆を築くことができる民主的な家庭を促進するものと考えている。

3月定例会

※議長は採決に加わりません。【欠席 1】

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
報告 2	専決処分の報告（損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定）	報告のみ
議案 4	令和6年度一般会計補正予算（第10号）… 補正額：△62億1121万円 予算額：397億7820万円 【主な補正理由】 （歳入）公立学校施設災害復旧に係る国庫補助金、令和6年能登半島地震復興基金追加交付の増額 （歳出）令和6年能登半島地震復興基金積立金、農業機械再取得等支援事業補助金の増額 各種施設の災害復旧費、各事業の精算見込による事業費の減額	可決 賛10 反0
5～10	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）～令和6年度下水道事業会計補正予算（第5号）	可決 賛10 反0
11	一般職の任期付職員の採用等に関する条例… 令和6年能登半島地震からの復旧復興を加速させるため、職員の任期を定めた採用及び任期を定めて採用された職員の給与の特例に関し、新たに制定。	可決 賛10 反0
12	観光振興基金条例… 地域共生型施設維持補修基金を活用し、観光振興の促進を目的として新たに制定。	可決 賛10 反0
13	コミュニティバスの運行に関する条例… A I（人工知能）を活用した予約制の乗合交通の運行形態に移行するにあたり、全部改正。	可決 賛10 反0
14	行政組織の再編に伴う関係条例の整備に関する条例… 令和6年能登半島地震からの復旧復興を加速させるため、まち整備課上下水道室を上下水道課に再編することに伴い、所要の改正。	可決 賛10 反0
15～23	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例～水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部を改正する条例… 所要の改正。	可決 賛10 反0
24	地域共生型施設条例及び地域共生型施設維持補修基金条例を廃止する条例… 地域共生型施設（花のミュージアム フローリィ）について、地域の事業者に施設を譲渡するため、関係条例を廃止。	可決 賛10 反0
25	令和7年度一般会計予算… 4～7ページ参照	可決 賛9 反1
26～32	令和7年度国民健康保険特別会計予算～令和7年度町立富来病院事業会計予算… 4～7ページ参照	可決 賛10 反0
請願 2	選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書の提出についての請願… 9ページ参照	不採択 賛2 反8
議案 33	財産の処分について… 地域共生型施設「花のミュージアム フローリィ」の廃止に伴い、施設の土地、建物及び構築物を北陸電力株式会社に売却する。 処分金額：1141万3525円	可決 賛10 反0
発委 1	町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例… 所要の改正。	可決 賛10 反0



令和7年度一般会計予算の採決
賛成多数で可決された



← 討論・採決の映像は
こちらから

1 回 臨 時 会

議 決 結 果

※議長は採決に加わりません。【欠席 1】

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
報告 1	専決処分の報告（損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定）	報告のみ
議案 1	令和6年度一般会計補正予算（第9号） 補正額：1億9430万円 予算額：459億8941万円 【主な補正理由】 歳入：災害公営住宅整備に係る国庫補助金、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加など 歳出：災害公営住宅整備に係る調査測量設計費、物価高騰対策事業費（住民税非課税世帯給付金の給付・キャッシュレス決算ポイント還元事業の追加など）の増額	可決 賛10 反0
2	体育施設条例の一部を改正する条例… 指定管理者の管理の期間をその他体育施設と合わせるため、所要の改正。	可決 賛10 反0
3	指定管理者の指定… 引き続き、5年間指定する。（指定期間：令和7年4月1日～令和12年3月31日） ミズノスポーツサービス株式会社：総合体育館、総合武道館、弓道場、陸上競技場、テニスコート、多目的スポーツセンター、野球場、富来B & G海洋センター	可決 賛10 反0
発議 1	議案第1号 令和6年度志賀町一般会計補正予算（第9号）に対する決議 提出議員 富澤軒康 賛成議員 櫻井俊一 寺井強	可決 賛9 反1

補正予算に対する 決議を提出



→ 討論・採決の映像は
こちらから



富澤 軒康 議員

賛成



南 正紀 議員

議案第1号 令和6年度志賀町一般会計補正予算（第9号）は復興を迅速に進めるためのもので、特に災害公営住宅の調査測量設計費が含まれているが、町民の意見が反映されていないとの指摘がある。

過去の予算執行を考えると、この段階が最も重要であるが、説明不足により議会が困惑している。それでも、これ以上、復興を遅らせることは被災者や町にとってよくないことから、決議内容への真摯な対応を求める。

- 1 住民と議会への理解を得るための情報共有と説明責任を果たすこと。
- 2 第一に住民に対する住民説明会を開き、それを踏まえつつ業務に取り組むこと。
- 3 建設場所の再検討を踏まえ、進捗状況等々を遅延なく具体的に報告すること。
- 4 本件にかかわらず復興に関することにおいて、遅延なく詳しく、しかも親切丁寧に説明すること。

震災からの復興の大きなテーマの一つとして、自力再建が困難な人々のための災害公営住宅が注目されている。

町長は復旧・復興事業は住民の意見を取り入れるとしており、今後はぜひとも丁寧な意見聴取を求める。

復興計画は50年、100年後のふるさと志賀を決定づけるものであり、復興に関する事業は議会としても議論したいと考えており、必要な情報を的確に提供されるよう願う。

【一般質問とは】

議員が町政一般について、報告や説明を求め、質問することをいいます。

1人あたりの持ち時間は答弁を含めて概ね40分です。

5氏が登壇 町政を問う！



小林 克嘉 議員

(13 ページ)

- 1 復興に向けた志賀町の再建について
- 2 地域の高齢化や世帯減少する現状について
- 3 災害公営住宅について

南 正紀 議員

(14 ページ)

- 1 復旧・復興事業者のトラブルについて
- 2 児童生徒に対する交通規範教育等について
- 3 庄田副町長在任中の所感について

中谷 松助 議員

(15 ページ)

- 1 道路穴ボコ損傷個所の即修を
- 2 町内の訪問介護事業者を守りたい
- 3 町立公民館施設等の早期復旧補修を
- 4 補聴器購入補助制度の創設を
- 5 原発ゼロ、志賀原発廃炉を求めよ

梢 正美 議員

(16 ページ)

- 1 人口減少社会におけるこどもたちと町の未来について問う
- 2 富来地区内に計画されていたアーバンスポーツ施設整備箇所の今後を問う
- 3 旧土田小学校放射線防護施設を地域コミュニティの拠点として平時の利活用を

堂下 健一 議員

(17 ページ)

- 1 風力発電所の計画中断について
- 2 文化財専門職員の採用について
- 3 福島原発事故14年について
- 4 避難者による避難所運営の関わりについて
- 5 稗造地区の山の土砂崩れの調査について聞く



一般質問を終えての議員の感想です。

議員の
ひとこと

町の復興イメージを聞く

官民連携の復興を進める 町長

小林

現在、地域の賑わい創出や町民の住みやすさを議論していると聞くが、どのような話し合いをしているのか。町長の描く、町の復興のイメージを聞く。

町長

「道の駅とき海街道周辺の再開発」を提案するための民間の検討組織が立ち上がり、地域の賑わい創出や地域振興についての話し合いが進められており、町はこの活動をバックアップし官民連携の復興を進めていく。

「志賀地域には飲食や商業的賑わいを、富来地域には観光で賑わいを創出し、交流人口の拡大を図る」ということは、第3次総合計画策定においても継続する。

広く意見や提言を吸い上げ、有効な施策を考えていくが、地道に、かつ確実に事業を進めていくことが復興への近道であると考えている。



小林 克嘉 議員



動画はコチラから

地域コミュニティに支援を求める

地域課題解決のサポートを検討する

町参事兼総務課長

小林

町内の各地域では、地震の影響で空き家の増加や人口減少が加速し、区の運営に苦しい思いをしている。今後の区の運営や地域コミュニティの維持に対し、どのようなサポートと対策を考えるのか。

町参事兼総務課長

自治会は地域住民の自主的な運営で成り立つことが原則であり、運営経費に対し公的な財源支援をすることは、元来自発的・主体的であった自治会活動の自由度や運営の持続可能性に影響することから、金銭的な補助をすることは考えていない。

地域の自治会間の連携により、持続的な活動に取り組んでいる事例が複数ある。自治会活動の持続可能性を高めることは地域と行政双方の課題であり、今後、先進自治体取組を参考に対策を検討する。

その他の質問

小林

災害公営住宅の整備で、町が重要視する点やコンセプトを聞く。

まち整備課長

災害公営住宅は将来的に町営住宅として運営していく。恒久的に建設した木造長屋仮設住宅の転用も視野に、既存の町営住宅も含めた戸数調整をしていきたい。



観光や商業が賑わう、住みよい町を目指し、質問しました。町民の声を反映させ、官民が協力し合って町を盛り上げましょう。

復旧復興事業者 トラブルの未然防止を

情報共有し、対策を講じる 町長



南 正紀 議員



動画はコチラから

南

未曾有の大震災から1年。昨年12月に国の災害査定も終了し、復興事業が加速する段階へと達した。そのような中、復旧事業者によるトラブルが散見されている。

行政が民間の事案に介入することは困難と承知するが、長く続く復興事業による不安を住民が抱かないよう、未然防止対策や安心感を与える周知活動が必要と考えるが、町の考えを問う。

町長

町では、道路や上下水道の復旧工事が今後本格化する一方で、復旧・復興事業者のトラブルが増えることを懸念している。

事故防止のために事業者間での情報共有や安全大会を実施しており、近隣とのトラブルについては、保険加入や修理対応を行っている。

町は事業者と連携しながら町民の苦情に対応し、解決に努めており、今後は関係機関と情報を共有し、トラブル防止と町民の不安解消に向け、対策を講じる。

自転車通学

保険加入の助成を求める

今後の状況を注視し、判断

教育長

南

近年の交通移動手段の多様化は目を見張るスピードで進んでいる。利便性や時間効率の向上など大きな恩恵を受ける一方、利用者の低い交通規範意識や、それらに起因する交通事故やトラブルの発生が社会問題化している。

事故の未然防止のため、周知活動・啓発活動が必要と考えるが、いかがか。また本町の自転車通学をしている生徒に、自転車通学期間における保険加入料の助成を求める。



ルールを守って安全に

教育長

子どもたちが早い段階で交通ルールやマナーを学ぶことは重要である。

学校では警察や安全協会と連携し、交通安全教室を実施し、自転車の実践的な交通安全指導を進めている。

保険加入料の助成は、補償内容や保険料がさまざまで、個別に助成することは困難であることから現時点では制度を設ける予定はないが、今後の状況を注視し、判断していく。

議員のひとこと

執行部側とは今後とも「是々非々で」を心がけます。

その他の質問

南

庄田副町長在任中の所感を聞く。

副町長

この12年、職務その他さまざまな面でなかなか経験できないことを経験させていただいた。

1期目には地域活性化のための取り組みを、2期目には「第2次町総合計画」に基づく各種事業、施策を推進してきた。

3期目は感染症対策、地震対応で終えたという印象を持っている。

職員には前例にとらわれることなく、斬新なアイデアを持って仕事に取り組んでいただきたい。



今季限りで退任された副町長に議長から花束が渡された



中谷 松助 議員



動画はコチラから



通行にはご注意ください!

道路穴ボコ

損傷個所の即、補修を

通行の安全を確保していく

まち整備課長

中谷

発災から1年、関係者の努力で大規模な道路復旧が進められているが、冬期間に小さな損傷が進行し、大きな損傷に発展するケースが多発している。

道路補修は道路パトロールや利用者の通報に基づいて迅速に対応しているが、補修が必要な箇所が多く、業者が追いつけないこともあるため、まち整備課の職員が応急対応を行っている。今後も道路パトロールを強化して業者と連携しつつ、通行の安全を確保していく。

広報を通じて通行者に道路の安全な利用を呼びかけるが、業者や資材の不足が懸念され、復旧の遅れが起る可能性があることを理解願う。

中谷

本町では2か所の訪問介護事業所があるが、報酬引き下げやガソリン価格の高騰、人手不足の影響で経営が厳しい状況だ。

この問題に対処するためには町からの支援が不可欠であり、報酬引き下げ分を町が補填するとともに、ガソリン代の補助を検討するなどの支援策を求める。

健康福祉課長

町内の訪問介護事業所では人材不足が課題であり、介護職員初任者研修を通じた人材確保が進められている。

原油価格高騰による経営環境の悪化には国の交付金での支援が行われるものの、訪問介護事業所に限定した補助予定はなく、今後事業者と連携し、人材育成を進める方針である。

議員の

ひとこと

将来、安心のための介護が危機に瀕しているとは本当に残念です。ミサイルを買うお金があるのなら、介護にこそ回してほしいと切に思うものです。

その他の質問

中谷

町立公民館施設等の早期復旧修繕を求める。

生涯学習課長

現在、東増穂・西海公民館は復旧工事の実施設計を進めており、検討中の公民館を除き、順次、予算計上を行う予定である。

中谷

補聴器購入補助制度の創設を求める。

健康福祉課長

町独自の助成制度の導入は考えていない。

中谷

原発ゼロ、志賀原子力発電所の廃炉を求めよ。

環境安全課長

第7次エネルギー基本計画や国の施策の動向を注視していくが、志賀原子力発電所2号機に関する規制基準の適合審査の行方も見守りたい。

より良い子育て支援環境を 県内トップクラスの支援を実施

子育て支援課長



動画はコチラから



梢 正美 議員

梢

令和5年5月に「こどもまんなかアクション」がスタートした。

少子化対策において、地域社会、企業、そして個人の意識改革を促し、より良い子育て支援環境を作り出す効果があると考えられるが、本町での効果的な取り組みを求める。

子育て支援課長

本町では、令和6年9月から保育料及び学校給食の完全無償化を実施する等、既に県内トップクラスのこども・子育て支援施策を実施しており、今後も「こどもまんなか社会」の実現に向けて取り組んでいく。

「こどもまんなか社会」の実現に向けては、関係各課や関係団体との連絡・調整を図りながらその実現に向けた事業を推進したい。



「こどもまんなかアクション」とは

こどもや子育て中の方々が気兼ねなくさまざまな制度やサービスを利用できるよう、地域社会、企業など、全ての人がこどもや子育て中の方々に応援する、社会全体の意識改革を後押しする取組。

アーバンスポーツ施設

今後の展望を聞く

道の駅とぎ海街道周辺

再整備計画を作成

梢

アーバンスポーツ施設整備は、既存の観光施設と併せて経済効果に繋げ、スポーツツーリズムの実現に取り組むとのことであったが、能登半島地震が発生し、町民の生活再建を優先するため、工事出来形での完成として工事が中止された。

多くの人が訪れるようなハード、ソフトの取組は大事と考えるが、今後の展望を聞く。

町長

道の駅とぎ海街道周辺の再開発について提案するため、現在、富来商工会が呼び掛けた団体で構成する組織で話し合いが進められている。

ここで出た意見や提言を参考に、7年度当初予算に計上した「道の駅とぎ海街道周辺再整備事業」で具体的な整備計画を作成する。アーバンスポーツ施設は、現状の整備跡地の新たな利用方法などを盛り込んだ整備計画にしたい。

その他の質問

梢

旧土田小学校放射線防護施設の、今後の利活用の見解を聞く。

環境安全課長

現在、旧土田小学校校舎棟は、1階が原子力防護区画、2階、3階を倉庫として使用している。

校舎棟は、有事の際、地域の方々が避難されるといふことを踏まえると、平時から利活用していただくことが望ましい。

議員の

ひとこと

「こどもまんなか」を柱に、町の皆さんが健やかでより幸せに暮らせる社会の実現に向けてがんばります！

風力発電所計画

町の賢明な判断を求める

トキ放鳥に影響ないよう求める

環境安全課長

堂下

昨年末に志賀風吹岳・虫ヶ峰風力発電事業が中断するということを耳にした。

中断の理由は景観や騒音の不安が払拭できないためであり、地震による土砂崩れや風力発電への道路の寸断を考慮したものではないことに驚いた。

他の計画中の風力発電事業も影響を受けており、中断を迫るべきではないか。さらに、トキの放鳥予定地の決定が近づいており、町の賢明な判断が求められるが、いかがか。

環境安全課長

地震で損壊した林道が計画中の風力発電事業にどのような影響を及ぼすか調査中で、各事業者は震災の影響や環境アセスメントの結果を踏まえ、事業の継続・中断を検討すると見込まれる。

町には風力発電事業の中止を要求する権限はないものの、環境アセスメント手続きの中での意見を通じて、事業者や石川県に対し、風力発電施設の建設が自然災害によって土砂崩れを誘発することのないよう、またトキ放鳥に影響を与えないように求めている。



堂下 健一 議員



動画はコチラから



令和8年度に決定したトキの放鳥
風力発電が与える影響が懸念される

文化財専門職員の採用を聞く

採用する予定はない

教育長

堂下

能登地区では本町のみが文化財専門職員を欠く状況で、震災後の文化財整理や修復の必要性の高まりから、その欠如が問題視されている。

町の文化発展に不可欠な人材募集が求められるが、令和8年度に向けた採用計画を聞く。

教育長

本町に博物館や資料館は無く、文化財の保護や歴史資料の管理は、生涯学習課が担当しており、石川県及び町文化財保護審議員などと連携しながら適切に対応しており、令和8年度に採用する予定はない。

今後、新たな歴史的・学術的な文化財の発見など、専門知識を有する学芸員を置く必要性が生じた場合は、改めて検討したい。

議員の
ひとこと

能登半島地震から1年、阪神淡路大地震から30年、福島第一原発事故から14年を迎える一般質問でした。

その他の質問

堂下

福島原発事故から14年が経過しての所感を聞く。

町長

能登半島地震から14年後の町を思い浮かべた時、元の町に復興しているのか想像したい面もあるが、復興計画を着実に具現化していきたい。

堂下

避難者に避難所運営の協力をお願いすべきではないか。

環境安全課長

実際に災害が発生した場合の避難行動や役割分担など、各種訓練や研修の場を通じて周知を図る。

堂下

稗造地区の山の土砂崩れの調査を聞く。

まち整備課長

県が崩落した斜面对策も含めて工事を行う予定で、現在は調査・設計中である。

仮設住宅入居者に お聞きしました

聞かせてください！ あなたの



現在町では10か所の応急仮設住宅があり、357世帯の方が生活されています。(R7.4.1現在)

今回は、とぎ第1団地(旧JAとぎ駐車場)と、とぎ第3団地(富来湾漁協倉庫跡地)にお住まいの方に、現在の状況をお聞きしました。

仮設住宅に入居しての感想をお聞かせください。

- 2人で生活しています。今のところは満足しています。(70代以上 女性)
- 1年が経過し、慣れてはきました。2人暮らしでは十分ですが、自分の家がよかったと実感しています。(70代以上 女性)



- 5人で住んでいて、狭さを感じ、ストレスが多い。荷物も入らず、住み心地が悪い。空いている住宅があるなら、世帯を分けて入居するなどの対応ができないのかと思います。(30代 女性)
- 狭いのは仕方ありません。慣れてはきましたが、生活音が気になります。(70代以上 女性)



今後の住まいについて、お聞かせください。

- 災害公営住宅ができれば入居したいと思います。今は運転できますが、年齢を考えると、買い物に便利な場所がいいと思います。(70代以上 女性)



- 災害公営住宅ができれば、入居も考えたいが、子どもがいるので、そのような状況も考慮した造りをお願いしたい。町には残りたいと思うが、行政の対応が悪いと、町外へ出ることも考えています。(30代 女性)

- 災害公営住宅の入居を希望します。子どもは志賀町には戻ってこないなので、建て直しはできません。(60代 男性)
- 町外にいる子どもから同居への声掛けがありました。震災で住民同士の絆が強くなりました。(70代以上 女性)



- 災害公営住宅の入居を希望していますが、志賀地域で検討したいです。(50代 女性)

- 将来については考え中です。再建の意思はありますが、資金面の補助が少なく無理です。(70代以上 女性)

- 中古の家を購入済みであり、リフォームして住む予定です。(40代 女性)



- 家を再建する予定です。自分達に何かあったら子ども達に使ってほしいと思っています。近所の人や友達との付き合いが心の助けになっています。(70代以上 女性)

お話を聞かせてくださったみなさん、ありがとうございました。
いただいたご意見は今後の議会活動の参考とさせていただきます。

原子力発電所対策 特別委員会

再稼働に対する合意形成や、
再生可能エネルギーへの課題を学ぶ



原子力発電所対策特別委員会は、令和7年1月21日から23日に宮城県石巻市、女川町を視察しました。

東北電力女川原発2号機は2011年の東日本大震災で停止して以来、13年ぶりに営業運転を再開しています。

委員会では、女川原子力発電所でのさまざまな対策を視察したほか、石巻市議会と女川町議会での再稼働に対する合意形成や再生可能エネルギーへの課題について学んだほか、議員との意見交換を行いました。

議員の視点

- ・住民懇談会を行い、安全性や事故時の生活な対処方など日々努力している。
- ・小中学校で一斉避難訓練を行っているとのことで、防災意識の高さを知った。
- ・国・自治体が一体となって地域防災計画、避難計画の具体化・充実化や、緊急時対応の取りまとめ、実効性の向上に努めなくてはならないと感じた。

全国議会広報コンクールで奨励賞を受賞！



奨励賞を受賞した広報

全国町村議会議長会が主催する「第39回町村議会広報全国コンクール」(応募総数311)で、「みて！よんで！して ぎかいのひろば」No75が奨励賞(企画・構成部門)を受賞しました。



議会広報特別委員会

今回の受賞を励みに、今後とも見やすい・わかりやすい議会広報を皆さんにお届けしたいと思います。

※「奨励賞」は入選には及ばないものの、次回コンクールでの入選に向けて、一層の研鑽を進めるための賞です。

今回は、 志賀町に移住された 高山さんご夫妻 にお話しをお聞きしました。

お聞きしました 志賀町の
**しかまち
LIFE**

**志賀町に移住して何年になりますか。
また、移住した理由を教えてください。**

志賀町に移住して、10年になります。
妻の実家が志賀町にあったので、ときどきこっち
に来ていました。
もともと田舎暮らしの願望もあったし、ここには
海・山・田畑全て近くて、環境がいい。
自分はポジティブなので、こちらに来ることは
全く不安はありませんでした。

**この10年間、コロナ禍があったり、地震が起
こったり、たいへんなことが多かったと思いま
すが、いかがでしょうか。**

地震はたいへんでしたが、あらためて人との繋が
りができたりして、悪い事ばかりじゃなかったです。
地震によって、親交が生まれた人もいます。

志賀町の良いところ・好きなところはどこですか。

個性的な人が多く、おもしろいです。
夏の海の青さは魅力的です。
魚や肉もおいしいですが、野菜がおいしい。
地元の方が作ってくれる野菜が非常にいいで
す。

今やってみたいことはなんですか。

山登りが趣味で、引っ越してくる前はいろんな山
に登っていました。
まとまった休みがとれたら登山にいきたいです。
高爪山にも行ってみたいです。

町や議会に望むことはありますか。

みんなで新しいこととか、どんどんやってけれ
たいですね。魅力ある町になってほしいです。



【ブラッスリータカヤマ】
TEL：080-2578-7749
定休日：不定休
(基本月曜日)



編集後記

記事にもあるとおり、わが議会広報が全国コ
ンクールで「奨励賞」を受賞しました。紙面の
大幅リニューアルが功を奏したようです。
今後も読んでみたい紙面づくりに努めていき
ます。(南 正紀)



議会へのご質問、「ぎかいのひろば」につ
いてのご感想・ご意見などありましたら、
ホームページの入力
フォームをご利用下
さい。



お知らせ

6月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

※本会議はケーブルテレビでも視聴できます。(生放送・録画放送)

6/3 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が町の近況や議案説明をします。)
6/10 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
6/17 (火)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者			議長		
委員長			福田 晃悦		
副委員長			表谷 茂浩		
委員			南 正紀		
櫻井 俊一			富澤 康		
寺井 強			軒 康		

議会広報特別委員会

委員長

南

正紀

茂浩

櫻井

富澤

俊一

寺井

軒

康